

# 2023年度 学校評価公表シート

安田幼稚園

評価の仕方…保護者の評価：保護者アンケートの4段階評価を平均にしたもの

自園の評価：各クラス・学年で成果が見られた子どもの割合を示し、(※)で照らし合わせ表記したもの

(※) 80%以上…4 60%～79%…3 40%～59%…2 40%未満…1

4…そう思う 3…やや思う 2…あまり思わない 1…思わない				自園評価		保護者評価	
				学年	総評	学年	総評
重点目標 (4つの柱を通してやさしくつよい安田っ子の育成を目指して)	心通うあいさつ	年少	遊んだ後の片付けをする指導を行っている	4	3.6	3.7	3.6
		年中	自分が使った物や道具棚を整理整頓する指導を行っている	4		3.7	
		年長	使った物や遊んだ場所を友達と一緒に片付ける指導を行っている	3.5		3.6	
		全学年	生活習慣の定着を目指し、自立を促す指導を行っている	3.2		3.6	
	友達いっぱい	年少	先生や友達と一緒にいろいろな運動遊びをやってみようとする指導を行っている	4	3.9	3.9	3.7
		年中	戸外で進んで体を動かして遊ぶ指導を行っている	4		3.9	
		年長	目標をもって運動遊びに取り組み、自分の課題をクリアしようとする指導を行っている	4		3.6	
		全学年	クラスや学年の友達に親しみをもち、いろいろな友達と関わりもてる指導を行っている	3.6		3.7	
	自然のかわり	年少	飼育物や身近な生き物に親しみをもち指導を行っている	4	3.5	3.8	3.7
		年中	身近な生き物に関心をもって見たり触れたりする指導を行っている	3		3.8	
		年長	身近な生き物への親しみをもち、優しく触れたり世話をしたりする指導を行っている	3.5		3.5	
		全学年	自然体験(収穫体験、栽培など)は、自然への関心をもつ体験となっている	3.8		3.8	
	おはなし広場	年少	先生の話喜んで聞く指導を行っている	3	3.6	3.7	3.7
		年中	目を見て人の話を聞く指導を行っている	4		3.7	
		年長	先生や友達の話に興味や関心をもち最後まで聞く指導を行っている	4		3.7	
		全学年	絵本の貸し出しや日々の読み聞かせと「おはなし広場」は絵本が好きになる体験となっている	3.8		3.9	
保護者との連携	年少	おやくそく表の取り組みは、たくましい力の育成につなげる指導となっている	3.5	3.3	3.2		
	年中			3.3			
	年長			3.1			
		保育便りやクラスだより、クラス懇談は分かりやすい内容となっている	3.8	3.8			
		ホームページは、園児の様子を伝えている	3.7	3.8			
食育		給食の実施や食事に関する指導は、食への関心を高める事や良いマナーの定着につながっている	3.5	3.6			

## 学校評価アンケート結果と考察、今後の課題

### ○4つの柱（「心通う挨拶」「友達いっぱい」「自然とのかかわり」「おはなし広場」）の重点目標について

- ・総評 3.6～3.7 の評価をいただいた。保護者評価よりも自園評価の方が高い項目があり、園での子どもの様子や成長を理解していただけるよう「伝える」努力を行うと共に、個々の課題や目標をしっかりと見極めて丁寧に指導していく。
- ・「心通う挨拶」の項目では保護者評価も自園評価も「3.6」だった。「気持ちよく生活するため」や「使いたい物がすぐに使えるようするため」に片付けや整理整頓が必要であることなどを子ども達に知らせてきた。片付けや整理整頓を習慣化して行くには根気が必要で簡単に身につく物ではないため、今後も年齢に応じて片付けや整理整頓することが身に付くよう指導していく。
- ・「友達いっぱい」の項目では、自園評価は「3.9」と高かったが、保護者評価は「3.7」だった。園での取り組みや個々の頑張りを保護者の方に十分伝え切れていなかったことが評価の差に表れている。今後は、園での取り組みや子ども達の様子をしっかりと伝えると共に、運動遊びに対する個々の興味の把握に努め、体を動かして遊ぶ楽しさや心地良さを感じたりできるようになる喜びを感じたりしていけるよう引き続き指導していく。
- ・「自然とのかかわり」の項目は自園評価が「3.5」と低かった。四季を通じて生きものに触れたり観察したりできるよう環境を整えていくことが反省であり課題である。身近な生き物に対する個々の関心度の差を把握し、かかわり方を見直していく。身近な生き物や新たに迎えたうさぎに関心や愛着をもって観察したり世話したりできるよう、学年に合った当番活動を行うなど工夫する。
- ・「おはなし広場」の保護者評価は「3.7」の評価をいただいたが自園評価は「3.6」だった。子ども達の集中力を考慮しながら教師が伝え方の工夫をしていくと共に、話を聞く際の望ましい態度が身に付くよう学年に応じた指導の工夫をおこない日々の生活の中で継続して指導していく。

### ○ 保護者との連携について

- ・家庭に協力していただいた約束表の取り組みについての保護者評価は「3.2」だった。おやくそく表の提出率が 100%にならないのが現状である。昨年までの反省や考察を活かし、子ども達が興味や意欲をもって取り組めるようペープサートの活用を試みた。自分のことは自分で行う「生活力」や「継続すること」がたくましい力に繋がる事、「生活力」は園と家庭との連携が不可欠であることへの理解を深め、家庭との連携を強化していきたい。

### ○ 食育について

- ・給食や食事に関する指導では、保護者評価は「3.6」であった。給食を通して様々な食材やメニューに触れることのできる良い機会となっているが、アレルギー対応が課題である。アレルギー対応ができるよう前向きに検討していく。偏食に対する指導だけでなく箸の持ち方や食事の姿勢などマナーに関する指導も意識しておこなってきたが、引き続き家庭との連携により食育指導を行っていく。

### ○ その他

- ・現状に満足することなくより質の高い教育を目指していきたい。
- ・3 学年共に、4 つの柱にそれぞれの重点項目を掲げ「目指す子ども像」に向け 3 年間を見通した指導を行ってきた。各学年の取り組みと指導に対して自園評価を行い、アンケートによる保護者評価を併せ、上記のように反省・課題など明確にした。今後は、反省・課題に対して具体的方策を掲げ改善に取り組んでいきたい。